

令和7年度 带状疱疹の予防接種についての説明書 【費用助成事業用】

1. 带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、体の左右どちらかに带状に、時には痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状は治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があります。50 歳以上の带状疱疹を発症した人のうち、約 2 割は 3 か月以上痛みが続くといわれており、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70 歳代で発症する方が最も多くなっています。

2. 対象となる方

次の①～③の全てに該当する方

①接種日に 50 歳以上の田原市民

②定期予防接種の対象（65・70・75・80・85・90・95・100 歳以上）ではない
（令和 8 年 3 月 31 日時点の年齢）

③次のいずれかに該当する

- ・過去に生ワクチン（ビケン）や、組換えワクチン（シングリックス筋注用）の予防接種を受けていない。
- ・過去に組換えワクチン（シングリックス筋注用）の予防接種を受けているが、2 回目が完了していない。

3. 带状疱疹ワクチンとは

带状疱疹ワクチンには、乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン）と、乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス筋注用）の 2 種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン）	組換えワクチン 乾燥組換え带状疱疹ワクチン （シングリックス筋注用）
接種回数（接種方法）	1 回（皮下に接種）	2 回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	—	通常、2 か月以上 6 か月の間隔を置いて 2 回接種 【接種日の例】 1 回目 4 月 1 日 2 回目 6 月 1 日～10 月 1 日 ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を 1 か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後 3 か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後 6 か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

その他に、接種前に発熱を呈している方、危篤な急性疾患に罹っている方、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方等はいずれのワクチンも接種出来ません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、带状疱疹ワクチン（生ワクチン、組換えワクチン）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。

4. 带状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス筋注用）
带状疱疹に対する ワクチンの効果 （報告）	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

5. 带状疱疹ワクチンの安全性

ワクチン接種後に、以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に聞きなる症状が認められた場合は、接種した医療機関へお問合せください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス筋注用）
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

6. 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン（ビケン）については、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

7. 接種を受けた後の注意点

ワクチン接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部位は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

8. 医薬品副作用健康被害について

接種により健康被害が発生した場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法（平成14年法律第192号）及び田原市予防接種事故災害補償規程（昭和59年田原町訓令第9号）による救済の対象となる場合があります。

<問い合わせ先>

田原市役所 健康課 健康増進係 TEL23-3515 FAX23-3810
あつみライフランド 健康課 保健係 TEL33-0386 FAX33-0319